

中央線が好きだ。

magazine

vol.1 2015

×青文歩の達人

武東 藏小 金井



こんなところに住んでみたい

この街・ 住み心地

落ち着いた住宅街の中に農地が点在し、子どもも思いきり走り回れる広大な公園をもつ小金井市は、緑豊かな街。新宿から電車でわずか20分ほどのこの地には武蔵野の面影が残り、のんびりとした空気が流れる。

いつもいっしょに
すごしたい。

江戸東京たてもの園



初めてでも何だか懐かしい

江戸末期から昭和にかけて建てられた建造物を移築、復元した野外博物館。茅葺き屋根の農家、田園調布のモダンな邸宅、2・26事件の舞台となった高橋は清邸など、さまざまな時代と背景を持つ30の建物を展示。東、センター、西の3つのゾーンに分かれ、中でも商家や銭湯などが並ぶ東ゾーンに、映画『千と千尋の神隠し』で作画の参考にされた建物もあり、下町の風情が味わえる人気スポットだ。

[DATA] JR中央線武蔵小金井駅北口からバス約5分の「小金井公園西口」下車徒歩約5分。
9時30分～17時30分(4～9月)・9時30分～16時30分(10～3月)(入園は閉園30分前まで)、月曜(祝日または振替休日の場合は翌日)休。大人400円ほか。小金井市桜町3-7-1。☎042-388-3300



それぞれの時代の
暮らしを建物から
感じてください。



1. 小高い丘はくじら山。北側にははげ(崖)の風景を見るこ
とができる。2. 公園入り口の噴水では水遊びを楽しむこども。

“武蔵野”を体感できる 自然が魅力

小金井市と府中市にまたがる都立公園。園内を流れる野川は水辺に草が生い茂り野趣あふれる景色が続く。川辺ではのんびり寝ころぶ人も。野鳥も多いので、バードウォッチングも楽しめる。南側には原っぱや雑木林が広がり、当日8時30分から13時30分まで申し込み可能なバーベキュー広場(先着、定員となり次第締切)や夏休みは子どもに人気のじゃぶじゃぶ池もある。

[DATA] JR中央線武蔵小金井駅南口からバス約15分の「武蔵野公園」下車すぐ。☎042-361-6861

武蔵野公園



小金井公園



緑の芝生でたっぷり遊ぶ

園内には1万5000本以上の樹木が植えられ、一年を通して多くの草花が楽しめる。中でも約1700本の桜が開花する春は必見。充実した運動施設や広々とした芝生の広場など、家族そろってのびのびと遊ぶことができる。江戸東京たてもの園やサイクリングコースなど、さまざまな施設もある。

[DATA] JR中央線武蔵小金井駅北口からバス約5分の「小金井公園西口」下車すぐ。☎042-385-5611



山型のトランポリン「ふわふわドーム」。子どもたちの人気スポットのひとつだ。

金井の地名の由来は、「黄金に値する豊富な水が出る」ことから「黄金井」へ転じて「小金井」となったといわれる。今でも水はコンコンと湧き出し、市内3カ所の湧き水が「東京の名湧水」に選ばれているほど。

水のいい場所は自然が豊かという法則がこの地にも当てはまり、今も武蔵野の面影が濃く残っている。市の南側には野川とそれに沿った武蔵野公園があり、一方の北側には玉川上水が流れるそばに小金井公園がある。どちらも近隣の住民はもとより、市外から多くの人が訪れる憩いの場だ。

上野公園の1.5倍という広大な敷地の小金井公園には広々とした原っぱと多彩な遊具を集めた「わんぱく広場」「山型トランポリン」「ふわふわドーム」「人工芝を敷いたソリゲレンデ」「サイクリングコース」と、親子で一日たっぷり楽しめる

施設がある。また武蔵野公園では、バーベキューを楽しんだり、園内を流れ野川沿いを散歩したりする親子の姿が見られる。

施設がある。

また武蔵野公園では、バーベキューを楽しんだり、園内を流れ野川沿いを散歩したりする親子の姿が見られる。

セスと、環境の良さ。とくに子育て世代にとって、身近な自然は何ものにも代えがたいものようだ。と、口を揃えるのが、都心へのアクティビティも開設しており、子育て支援サポーターの「小金井子育て・子育ち支援ネットワーク協議会」があるという。「のびのびーの」という子育て支援サークルも開設しており、子育て中のパパ・ママのみならず子育て予備軍にも心強いかぎりだ。

日本の標準時を“作る” NICT



日本の時刻が
作られる瞬間に
立ち合えます。



日本の標準時を作っている部屋に
設けられた展示室のモニターと案内をしてくれた真野和彦さん。

情報通信研究機構(NICT)

テレビなどの時報の基になる「日本標準時」。その正確な“時”はこのNICTで作られ、全国に配信されている。もっともこれはNICTの仕事のはんの一部。情報通信技術に関連する最先端の研究が日々進められ、その成果の一部を展示室で公開している。毎週水曜日には見学ツアーも行っている。

[DATA] JR中央線武藏小金井駅北口からバス約10分の「情報通信研究機構前」下車徒歩約2分。本部展示室9時30分～17時(受付は～16時30分)、土・日曜・祝日休。無料、見学ツアーは要予約。小金井市貫井北町4-2-1。
☎042-327-6375



中村文具店

店内に一歩足を踏み入れると懐かしい気分に。それもそのはず、並んでいるのは昭和の文具の数々。こちらは珍しい“古文房具”専門店だ。店主の中村研一さんは3代目で、倉庫に眠っていた昔の文房具を店頭に並べている。決して便利な場所ではないが、わざわざ遠方から思い入れのある文具を探しに来る人も多いという。



[DATA] JR中央線武蔵小金井駅南口から徒歩約12分。12時～18時、土・日曜のみ営業。小金井市中町4-5-31。
☎042-381-2230

若い人たちに、
この街の魅力を
教えてもらいました。



黄金の水管人
(菊屋文具店 店主)
大久保昌弘さん

若い人たちに、
この街の魅力を
教えてもらいました。



黄金の水管人
(菊屋文具店 店主)
大久保昌弘さん

自慢は青森ヒバの浴槽



オープンから40年以上。常連には80代、90代のお客さんもいるという。

ぬくい湯

現在、小金井市で唯一営業している銭湯。一見、隣の工務店と一体化しているように見えるが、それもそのはず、オーナーは同一人物。もともと工務店を経営していた佐藤義明さんが銭湯を無くしてはいけないと、前店主から引き継いだのだ。昭和そのものの浴室で目につくのは、銭湯では珍しい木の浴槽。青森ヒバを贅沢に使用し、肌にやさしい感触。

[DATA] JR中央線武藏小金井駅北口からバス約10分の「ブル前」下車徒歩約1分。16時～23時、5・15・25日休。大人460円ほか。小金井市貫井北町3-4-4。
☎042-383-5757

青森ヒバの
ほのかな香りでリラックス
できますよ。



小金井は近隣の街と少し違った空気が流れる。派手さではなく、なんとなく街全体に土の匂いを感じる。とはいって、オシャレな店もほどよく散らばり、意外といえば失礼だが、感度の高い人たちが集つて、いろいろなイベントなども行われている。ほんわかした雰囲気と都会のセンスが同居する、それが小金井なのだ。その絶妙なバランスに気付いたら、もうこの街のとりこになつていよいよ。都会でありつつ、ホツトムのことのできる、居心地のいい街に出かけてみたい。

ほんわかハイセンス



小金井産トマト



近隣の店主が毎月開催する朝市

はけのおいしい朝市

「はけ」とは小金井市南部を東西に走る崖のこと。自然豊かなはけのある街の良さを知つてもうと近隣の店主たちが月1回、朝市を開催している。惣菜やコーヒー、作家によるクラフトの品のほか、古文房具、花、ペット用品といったこだわりの商品が並ぶ。毎回会場が変わるのでホームページで事前にチェックを。

写真はコミュニティステーション東小金井などで開催された70回目の朝市。2会場で開催されることもあり、両方の会場を回る人も多い。

[DATA] 每月第1日曜開催。
☎042-401-1866(ドッグデコ)
<http://hakeichi.net/>

毎朝、みずみずしい
採れたての野菜が
届きます！

黄金や



小金井の特産品を販売するタウンショップ「黄金や」の店頭には、近隣農家が朝収穫したばかりの野菜がぎりぎり並ぶ。注目は江戸東京野菜。伝統小松菜やしんじり菜、寺島なすなど、現在では稀少な存在。さらに地元で作られたパンやスイーツ、加工食品のほか、具だくさんの手作り弁当も好評だ。2階のキッチンでは、野菜たっぷりのランチが食べられる。



[DATA] JR中央線東小金井駅南口から徒歩約2分。ストア10時～20時・キッチン11時30分～18時(～17時30分LO)、日曜休。小金井市東町4-42-21。
☎042-316-1833

ストアとキッチンの
スタッフが笑顔で
迎えてくれる。左は旬の野菜のサラダプレート850円



小金井産
江戸東京野菜
寺島ナス



散歩途中に採れたて野菜を発見

無人農産物直売所

小金井市を歩くと畑の一角や農家の庭先に野菜や果物が並び、その横には料金箱が、いわゆる無人直売所だ。偶然、農家の人が野菜を置いていたところに遭遇。並べ終えると、合図に幟を立てた。営業日も農産物の種類も数も、その日の収穫次第。朝方に置くと昼ごろまでに無くなってしまうこともあるようだ。

小金井市では50軒以上の農家が無人直売所を設けている。
[DATA] 左／島田さんの無人直売所。JR中央線東小金井駅南口から徒歩約15分。小金井市東町2-10。右／鴨下さんの無人直売所。JR中央線東小金井駅南口から徒歩約5分。小金井市中町2-22

口当たりまるやかな井戸水はいかが

水は地下100mから汲み上げている。週末は行列ができるほど盛況ぶり。

黄金の水

武藏小金井駅南口の中央商店街から一本入った路地にある六地蔵。敷地に掘られた井戸の水はおいしいと好評。カップ1杯分は無料で飲め、蛇口に付ける500円の専用水栓を一度購入すればあとは汲み放題。この水で蕎麦を打つ店やコーヒーを淹れる店もある。

[DATA] JR中央線武藏小金井駅南口から徒歩約5分。小金井市本町1-7。
☎042-381-1379
(菊屋文具店)

地元と大学の
人と人をつなぐ場に
したいと思います。



note cafe

今年6月、東京学芸大学のキャンパスに地元の人との交流の場としてカフェがオープン。もっと地域の人に大学を知つてもらいたいという思いから、副学長の藤井健志さんが発案した。図書館をリニューアルして併設された店内は白を基調とした明るい雰囲気で、学生に交じて小さな子どもを連れたお母さんの姿も。特に土曜日は多くの地元の人が訪れるという。

[DATA] JR中央線武藏小金井駅北口からバス約10分の「学芸大正門」下車徒歩約5分。10時～18時30分、日曜・祝日・構内への立入り制限休。小金井市貫井北町4-1-1。
☎042-329-7312

大学と地元の交流の場に
したいと思います。



カフェでは店内オープンで焼きたてのベーカリーを提供。訪れた人が自由に書き込める「おさんぽ」はっけんノートも置いてある。

「はけのおいしい朝市」は、若い女性が発案したのですが、彼女からはあるためか中小學生の学習意欲が高いのも子育て世代には魅力のひとつだろう。

大久保さんは、この地に新しく引っ越してきた若い世代から街の魅力を再認識させられることがあるといふ。

「はけのおいしい朝市」は、若い女性が発案したのですが、彼女からはある自然と共存する暮らしのすばらしさと、それに共感してくれる仲間がいることが街の魅力と聞こえる。なるほどな、と思いました」こうして、住民の中でさまざまなかみの力が育ち、それらの活動が街の魅力をさらに高めている。

小金井の魅力
この人に聞く

街の生き立ち

金井

かつて小金井は、江戸から花見に多くの人々が訪れた一大観光地だった時代がある。そんな街の「生き立ちの記」。

小金井橋で花見をする人々。
「明治写真帖」より(人工着色)

写真提供：小金井市教育委員会

JR中央線の甲武鉄道が開通すると、さらに多くの人々が押し寄せ、最寄りの境停車場（現在の武蔵境駅）と国分寺停車場から玉川上水まで花見の客が列をなしたという。

その後大正15年に武藏小金井駅が開業し、東小金井駅はそれに遅れること38年、昭和39年に開業した。

江戸時代の半ばに玉川上水沿いに山桜が植えられ、やがてみごとな花を咲かせるようになった。小金井桜と呼ばれ人々に親しまれていたが、その名を決定的にしたのが歌川広重が描いた錦絵だ。これで全国的に知られるようになつた。

小金井市は、江戸から花見に多くの人々が訪れた一大観光地だった時代がある。そんな街の「生き立ちの記」。

かつて小金井は、江戸から花見に多くの人々が訪れた一大観光地だった時代がある。そんな街の「生き立ちの記」。

街が小金井なのだ。

最新号 「散歩の達人」8月号 発売中
(毎月21日発売)



※本冊子の情報は2015年7月現在のものです。※料金・営業時間・休園(館)日、イベント内容・期間などは変更になる場合がありますので、事前にご確認ください。※営業時間・休園(館)日はゴールデンウイーク、お盆、秋の連休、年末年始などは変更になる場合があります。※掲載の写真・図などは全てイメージです。

中央線が好きだ。マガジン 2015 vol.1
2015年7月発行
発行 | 東日本旅客鉄道株式会社 八王子支社
制作 | 株式会社ジェイアール東日本企画
編集 | 株式会社交通新聞社
江戸東京たてもの園 子宝湯背景画 | 中島盛夫
表紙写真 | 阿部栄一郎
協力 | 小金井市



はけと坂の風景

ムジナ坂

かつてはけの上に住む農民がはけ下の水田に行きために通った細い坂で、夜になるとムジナ(狸)が人を化かすといわれ、この名がついたとい。現在は整備され木々に覆われた歩きやすい階段となっている。

[DATA] JR中央線武蔵小金井駅南口から徒歩約20分。小金井市中町1-13と14の間

そうろう 滄浪泉園

明治・大正期に外交官・衆議院議員として活躍した波多野承五郎の別荘の庭園跡。はけから湧く水が池を作り、そこから園内に流れ野川へと下っていく。「東京の名湧水」にもなっている。池の周りの赤松や杉、そして下草が美しい景観を生み出している。

[DATA] JR中央線武蔵小金井駅南口から徒歩約15分。9時～17時(入園は～16時30分)、火曜(祝日の場合は翌日)休。大人100円、子ども50円。小金井市貫井南町3-2-28。☎042-385-2644

おお坂

江戸時代、国分寺薬師堂に向かう薬師道へつながる主要な道にあったため「大坂」と呼ばれた。現在も坂上と坂下をつなぐ重要な交通量の多い自動車道となっている。

[DATA] JR中央線武蔵小金井駅南口から徒歩約15分。小金井市中町1-10と11の間

はけの階段

はけには台地と低地をつなぐ階段がいくつも造られている。中でも武蔵野公園北側の階段が散歩におすすめ。市が管理する敷地内は樹木が生い茂り、周囲は柵で仕切られ立ち入り禁止になっているが、この敷地を通るよう階段が整備されている。

[DATA] JR中央線武蔵小金井駅南口からバス約10分の「中町二丁目」下車徒歩約7分。小金井市東町5-5

坂と水をめぐる小金井まち歩き

小金井市の南側を東西に横切る崖を国分寺崖線というが、これを地元では「はけ」と呼んでいる。はけは台地に浸み込んだ雨水が地層を通り、あちこちから湧出し周囲を潤すとともに、坂の多い独特的の景観を生み出した。人々が日々往来するそれらの坂にはいつしか名前が付き、その由来が今に伝わっている。

念仮坂

昔も今も狭く細い道で、両側に竹や樹木が生い茂り、坂の途中に墓地があったため、通る人が念仮を唱えたことから名付けられた。現在も竹が茂り、かつての面影を残す風情ある坂だ。

[DATA] JR中央線武蔵小金井駅南口から徒歩約10分。小金井市前原町3-32と33の間

質屋坂

埼玉と府中を結ぶ志木街道の一部で、街道中もっとも険しい坂として知られていた。かつて坂の途中にあった質屋からこの名がついたとい。今では地元の生活道だが、往時の趣を感じさせる美しい坂だ。

[DATA] JR中央線武蔵小金井駅から徒歩約5分。小金井市前原町3-40と41の間

はけの森美術館・美術の森緑地

大正から昭和にかけて活躍した洋画家・中村研一の旧邸とアトリエ跡に平成18年にオープンした市立美術館。裏手にある「美術の森緑地」には「東京の名湧水」に選ばれた湧水があり、池の中で水が湧き出ている。また、大岡昇平の小説「武蔵野夫人」の舞台のひとつとしても知られる。実際の緑地と小説の描写を比較するのも一興だ。

[DATA] JR中央線武蔵小金井駅から徒歩約15分。小金井市中町1-11-3。☎042-384-9800
はけの森美術館 / 10時～17時(入館は～16時30分)、月曜(祝日の場合は翌日)・展示替期間休、入館料は要問い合わせ。
美術の森緑地 / 10時～17時、月曜(祝日の場合は翌日)休。無料。

ののわ

地域で出会った人

緑豊かな武蔵野を
スタンプラリーで楽しむ

上は「自転車散歩ツアー」の時の様子。左は、英国のコッツウォルズの雰囲気を感じさせる春の野川。



今年の3月21日から5月6日の約1カ月半、小金井市、三鷹市、武蔵野市、調布市、府中市、小平市をめぐる「森の地図スタンプラリー」が開催された。主催団体の一つでイベントを発案し運営しているのが「武蔵野コッツウォルズ」。この団体はアクティビティを通して武蔵野の良さを知つてもらうことを目的に設立された。

英國の美しい田園風景で知られる
緑の中に天文台や個性的な美術館、
由緒あるお寺や神社などバラエティに富んだポイントがたくさんあります。自然と都会、文化、そして歴史が同居するとても面白い場所ですね。しかも、それぞれ特長がある都立公園が

コッツウォルズになぞらえている。
今回で6回を数えるこのイベントは平成24年秋にスタートし、以降、年2回春と秋に行われている。

スタンプラリーは、市をまたいだ半径約5kmの範囲に12のチェックポイントを設け、そこをめぐりながら、さまざまな体験や発見を楽しむことを目的としている。

「この地域のまんなかを野川が流れ、
12もあり、これはめぐつてみたら楽しいなと思いました。東西には中央線があるので、南北は交通が不便なこともあります。そこで地域を広域に回遊するスタンプラリーという仕組みを考えたのです」と語る鈴木さん。その思いが多くの人々に届き、イベントは回を重ねるごとに参加者が増えている。

鈴木さんは自転車での回遊も推薦しており、自ら案内役をする自転車散歩ツアーも行っている。スタンプラリーのエリアでは、このイベントにぴったりの、S u i c a がそのまま会員証として利用できる新しいシェアサイクル（他のポートにも乗り捨て可能なレンタルサイクル）である「S u i c l e」もあり、東小金井駅、武蔵境駅などで自転車をレンタルできる。

毎回、新しいアイデアを盛り込んでいる鈴木さんは、2020年の東京オリンピックを見据え、外国人などが民泊をして、のんびり回遊する企画も実現したいという。



鈴木俊彦さん

一般社団法人
武蔵野コッツウォルズ 代表

Information

森の地図スタンプラリーの次回は10月中旬～11月下旬ごろに実施予定。
スタンプラリーや自転車散歩ツアーの詳細はウェブサイト「武蔵野コッツウォルズ」<http://www.musashino-cotswolds.jp/> で。

ののわプロジェクトとは

「ののわ」は、「緑×人×街 つながる」を合言葉に、中央線の立体交差化で北と南がつながった三鷹から立川間の魅力を引き出すプロジェクト。「nonowa(ののわ)」※は、豊かな自然や、個性ある文化と駅と街をつなぐ、「武蔵野の『輪・和』になりたい」という願いを込めて名付けられたプロジェクトの名称です。東京のまん中にあるこのエリアで、地域の魅力を共有し、暮らし方や働き方を見つめ直すことで、この地域ならではのライフスタイルを探っていきます。

※株式会社JR中央ラインモールが運営する商業施設の名称としては、英文字で「nonowa」と表記しています。

ののわウェブサイト

<http://www.nonowa.co.jp/areamagazine/>



武蔵野3原色の「土・水・緑」の
「わ」が重なる「nonowa」のハート。
中央線の自然と文化が融合し、
新しいライフスタイルが
はじまります。